

第20回 鹿児島県地域年金事業運営調整会議 議事要旨

開催日時：令和5年7月21日（金）14時～16時

開催場所：かごしま県民交流センター

出席者：委員9名

日本年金機構8名

議事

1 開 会 鹿児島北年金事務所事務局

2 あいさつ 鹿児島北年金事務所長

3 委員等紹介

4 議事

議題1 令和4年度事業実施結果報告

【資料 鹿児島県地域年金事業運営調整会議資料2】

事務局からP1～P24までを説明。各委員から意見・質問・要望をいただき、今後の取り組みに活かしていくこととしました。

議題2 令和5年度事業計画について

【資料 鹿児島県地域年金事業運営調整会議資料2】

事務局からP25～P31までを説明。各委員から意見・質問・要望をいただき、今後の取り組みに活かしていくこととしました。

【主な意見・要望・質問】

○議題1 令和4年度事業実施結果報告

（宮浦委員：鹿児島商工会議所）

令和4年度年金セミナー等の開催実績が高校・大学等で57校、参加者約4千数百人とのことで、若年層への周知は年金の肝であり、これは成果と言えるのではないかと思います。

毎年これ位をベースにちょっとずつ増えていくような展開ができれば、更に効果が出るのかなと思います。

（事務局）

年金セミナー等を実施した学校は翌年度も実施したいと考えています。また、新規の開催学校も増やしていきたいと思いますので、ご支援をお願いします。

（紺屋委員の代理 坂口様：鹿児島県教育庁）

例えば、高校社会科の公共の授業で、年金セミナーDVDを教材の提供という形で実施するの

も可能ではないかと思います。高校 1、2 年生は公共の授業を必ず受けますので、かなり効果があると思います。

(事務局)

年金セミナーDVDを活用し、推進していきます。

(片平委員：社会保険労務士会)

年金セミナー等の開催実績で、大学と短大が2校と少ない理由を教えてください。

(事務局)

大学・短大に開催依頼をしても、スケジュールの関係で時間が取れないとの回答をいただいています。大学・短大における説明は非常に重要でありますので、来年度の開催に向けまして、早め早めのアプローチを今後も続けていきます。

(有村委員：社会保険委員会連合会)

年金という公助の世界を、中学校からでも教えていただいたらよいのではないかと思います。

(事務局)

いただいたご意見については、機構本部と情報共有していきます。

(本山委員：九州厚生局)

厚生労働省年金局では大学生の年金対話集会を実施しており、日本年金機構と連携した取り組みができればいいのではないかと、個人的には思います。

特別支援学校で障害年金について説明していただいた取り組みは、ありがたいことであると思います。障害年金、遺族年金は、更に機会を捉えて周知を図っていく必要があると思います。

また、鹿児島南年金事務所と鹿屋年金事務所で実施した地域住民への年金制度説明会には、どのような方が参加されたのですか。

(事務局)

特別支援学校における説明は、保護者・教員の皆様が興味を持って聞いていただきました。

また、地域住民への年金制度説明会には、鹿児島南年金事務所では民生委員の方、鹿屋年金事務所では老人クラブの方が参加しました。

(山田委員：協会けんぽ)

昨年、協会けんぽではDVDを作成し、県教育庁に相談の上、高校にアプローチをさせていただきました。

鹿児島南年金事務所の職域型年金委員8%増は、文書送付後に電話でアプローチという詰めところが非常に良かったと思います。今後、我々も健康保険委員を増やしていく必要がありますので、お互い頑張っていきたいと思います。

(中崎委員：鹿児島市)

ハローワークにおける相談会の実績について、鹿児島北年金事務所が他の年金事務所より参加者が少ないのはなぜですか。

(事務局)

新型コロナウイルス感染症の影響で相談会が2回実施しましたが、資料関係は設置及び配布をお願いしました。今後、従前と同じ形の相談会開催について、ハローワークと協議を進めたいと思います。

(松元委員：霧島市)

地域における地域型年金委員活動について、行政としても連携していきたいと思います。

(事務局)

地域型年金委員は、校区毎・公民館毎に配置することができれば理想であると考えていますので、連携・協力をお願いします。

(有村委員：社会保険委員会連合会)

年金セミナーも健康保険と合わせて総合的に実施する必要が高まっているのではないかと、感想を持っています。

(紺屋委員長)

皆様方から貴重なご意見を賜りましたので、各年金事務所の個々の活動に活かしてください。

○議題2 令和5年度事業計画について

(紺屋委員の代理 坂口様：鹿児島県教育庁)

若年層の国民年金納付率が全国に比べ低いのは、県外に転居しても住民票を移さないからではないかと思います。県外大学に出る生徒が多い普通科高校で実施した年金セミナーが少ないので、例えば普通科高校のPTAの会で、保護者や生徒に学生納付特例手続き等を教える機会を作るのは、お互いありがたいことになると思います。

(有村委員：社会保険委員会連合会)

生涯学習の観点からも年金セミナーを進めていければよいと思います。

(事務局)

特別支援学校でPTAの方に障害年金の手続きなどについて年金セミナーを実施しましたことと同じ考え方でありますので、実施に向けて検討したいと思います。

(片平委員：社会保険労務士会)

地域型年金委員の委嘱の考え方を教えてください。

(事務局)

地域型年金委員の委嘱拡大については、市区町村職員OB、教育関係職員OBの方に働きかけを行っています。また、大分では社会保険労務士の方への委嘱も進めていました。

(片平委員：社会保険労務士会)

当会としても協力していきたいと思います。

(中崎委員：鹿児島市)

マイナポータルからの国民年金加入、免除の電子申請についての大型ポスターの作成をお願いします。

(事務局)

ポスター作成については、機構本部に要望したいと思っています。

なお、鹿児島北管内の昨年度のオンラインサービス利用件数は1,808件、今年度4～5月は668件、昨年度の36.9%で、順調にいけば昨年度の200%になるものと思います。オンラインサービスは年金相談の窓口・電話に続く3つ目のチャネルとして、機構としても推進を強くやっていきたいと考えています。

(本山委員：九州厚生局)

出張年金相談は、機構職員だけで実施しているのですか。

(事務局)

社会保険労務士会のご協力をいただき実施しています。

(本山委員：九州厚生局)

機構が実施する出張年金相談に市町村職員も一緒に対応されてはどうですか。

(事務局)

全国では、離島においてテレビを使った年金相談を実施する際、機構職員はおりませんので、市町村職員の方にパソコン起動等をお願いしているケースはございます。

(紺屋委員長)

今年度の事業計画について皆様の認めをいただいたということで、皆様方ご意見・ご質問ありがとうございました。

5 閉 会